

研究協力をお願い

昭和医科大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

健診内視鏡における機能内視鏡検査法（EPSIS）を用いた胃食道逆流症のリスク因子に対する検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2024 年 11 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日に昭和医科大学豊洲クリニックおよび昭和医科大学江東豊洲病院消化器センターで健診目的に EPSIS 及び上部消化管内視鏡検査を行った患者様

2. 研究目的・方法

EPSIS(Endoscopic Pressure Study Integrated System)は、下部食道括約筋の機能を評価する新しい検査法で、胃食道逆流症(GERD)の診断に有用であることが報告されています。今回昭和医科大学豊洲クリニックにおける健診目的で上部消化管内視鏡を受診され、この検査を希望される方に対して検査を開始し、GERDの診断やそのリスクがあるかを測定しています。なおこちらの検査は、当院の高難度新規医療技術の承認を受けて実施しております。

その結果から、受診者様の背景因子や内視鏡検査所見と EPSIS 検査所見の相関性を検討することで、EPSIS の GERD のリスク因子に対する有用性を検討することを目的としています。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2030 年 4 月 30 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

受診者様の背景因子（身長 体重 年齢 喫煙歴 飲酒歴 既往歴 内服歴など）
内視鏡検査所見（GERD による粘膜障害の程度、食道裂孔ヘルニアの有無など）
EPSIS 検査所見（胃内圧波形やそこから解析により得られる数値）

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6. 研究組織

研究責任者

研究機関名 昭和医科大学江東豊洲病院 消化器センター 氏名 西川洋平

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

昭和医科大学江東豊洲病院 消化器センター 氏名 西川洋平

住所：135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-3 電話番号：0362046524